

武蔵の剣 初伝一の巻・初伝二の巻 お客様の声



「武蔵の剣 初伝一の巻／初伝二の巻」ご受講のお客様からお寄せいただいた感想の一部をご紹介します（順不同）。

水を意識したら、ゆる体操がすごく深く自由になった

大川内拓也さん（鍼灸師）

念願の「武蔵の剣」を学ぶ機会を与えていただいたことに感謝いたします。

これまで五輪書はサラっとならしか読んだことがなかったので、改めて高岡先生の講義を聞いて、武蔵がここまでストレートに身体意識について語っていることに衝撃を受けました。

そして、“水になる”ということが、先生の解説と実演で少し納得できたように思います。日々のゆる体操も水を意識するようになりました。するとすごく深く、自由になった感じがします。よりゆる体操が楽しくなりました。

次回の講義が楽しみです。ありがとうございました。＜初伝一の巻＞

ウナと転子、地芯を意識すると途端にゆるんでくるのがわかった

刀術編、とても楽しく取り組みました。ありがとうございました。

最初は木刀を握るとどうしても少し体が固まりがちになり難しさを感じていましたが、高岡先生のリードに従い、ニウナニ転子そして美しいシルバーの地芯を意識することで途端に体がゆるんでくるのを感じられるようになりました。当然のことですがここが一番大事だということに改めて気づかされました。これからもゆるんで稽古に励みたいと思います。＜初伝二の巻＞

ゆる体操と武蔵の剣が深いところでつながっていることがよく分かった

W.Kさん（会社員）

普段のゆる体操が「武蔵の剣」の体現へ深い処で繋がっている事が良く分かった内容でした。

木刀の振りも、「武蔵本」を読んで頭では分かってましたが、実際に体験するのとは大きな違いが分かって面白かったです。＜初伝二の巻＞

とてつもない情報量が、脳の中に折り目正しく収められていく

E.Aさん

基本の構造を学べる講座でした。基礎ゆる、歩き、ゆる体操の意味が水化という一つの方向性をもって説明されているように思いました。

まず水を手本とする、という五輪書の言葉の本質的な意味をお話して下さいました。クオリティの重要性を学びました。クオリティがこんなにもゆるむことに直接かかわってくるものだとは思っていませんでした。

さらにそれを受け、実際に立位でゆるをかけるときのウナと転子のポジションの説明は感動しました。何故NPSなのか、意味がわかっていませんでした。

そこからさらに、歩き、基礎ゆる、剣術の足運びとどんどんNPSが応用されていき、と同時に五輪書の武蔵の言葉の解説が行われ、とてつもない情報量が、脳の中に折り目正しく収められていく、そんな気持ちの良い体験をしました。

ゆるで本当に効果が出ているかの確かめ方の説明を見たときは、本気で液体化させなければならないのだと強く思いました。

特典映像も良かったです。それだけでも繰り返しやろうと思います。ありがとうございました。＜初伝二の巻＞

女性の私も楽しく取り組みました

K.Aさん（会社員）

武術に縁のない私でも大丈夫かなーと思いながら「武蔵の剣とゆる体操」だからきっとできんだろうと思い申し込みました。実際、いかにゆるゆるにゆるむか、力よりも意識が大切なので、女性の私も楽しく取り組みます。

トップ・センターなどの講座と比べると、宮本武蔵の剣という具体的な技術に地芯やセンターをつなげていくところに面白みを感じ感動しました。まだ全然できていないと思いますが、自宅で続けていきます。押し入れに木刀を持っている私って素敵・・・と思いながら・・・＜初伝一の巻＞